

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)

【公表番号】特表 2013-511096 (P2013-511096A)
 【公表日】平成 25 年 3 月 28 日 (2013.3.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-015
 【出願番号】特願 2012-539013 (P2012-539013)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 1/04 (2006.01)

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 1/04 3 0 1 B

G 0 6 F 1/00 3 3 2 A

G 0 6 F 1/00 3 3 2 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 11 月 8 日 (2013.11.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

回路ブロックの供給電圧を検知し、前記供給電圧が第 1 の電圧以下である場合、第 1 の制御信号を生成し、前記供給電圧が第 2 の電圧の所定の範囲内にある場合、第 2 の制御信号を生成する電圧検知モジュールと、

(i) 電力投入再設定の後に初めて前記供給電圧が前記回路ブロックに供給された場合、及び、(i i) 前記第 1 の制御信号または前記第 2 の制御信号が受信された場合に、前記回路ブロックに供給されるクロック信号の周波数を、前記回路ブロックの通常の動作周波数未満の値に設定する周波数調節モジュールと

を備え、

前記通常の動作周波数は、0 より大きい
 システム。

【請求項 2】

前記周波数調節モジュールは、(i) 前記第 1 の制御信号または前記第 2 の制御信号が受信された後に所定の時間が経った場合、及び、(i i) 前記第 2 の制御信号が受信された場合に、前記回路ブロックに供給される前記クロック信号の周波数を、前記通常の動作周波数に設定する請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記第 1 の電圧は前記第 2 の電圧より低い請求項 1 又は 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記周波数調節モジュールは、前記第 1 の制御信号が再度受信されると、前記周波数を、前記通常の動作周波数から前記通常の動作周波数未満の値に切り替え、前記第 2 の制御信号が再度受信されると、前記周波数を、前記通常の動作周波数未満の値から前記通常の動作周波数に切り替える請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項 5】

回路ブロックの供給電圧を検知し、前記供給電圧が前記供給電圧の所定の範囲の定格値以内である場合、第 1 の制御信号を生成し、(i) 前記供給電圧が所定の電圧以下である

場合、かつ (i i) 前記第 1 の制御信号が生成された電圧よりも前記供給電圧が低い場合、第 2 の制御信号を生成する電圧検知モジュールと、

前記第 2 の制御信号が受信されると、前記回路ブロックに供給されるクロック信号の周波数を、前記回路ブロックの通常の動作周波数未満の値に設定して、前記第 1 の制御信号がアサートされると、前記クロック信号の周波数を前記通常の動作周波数に設定する周波数調節モジュールと

を備え、

前記通常の動作周波数は、0 より大きい
システム。

【請求項 6】

前記第 1 の電圧は前記第 2 の電圧より低い請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記周波数調節モジュールは、前記第 2 の制御信号が再度受信されると、前記周波数を、前記通常の動作周波数から前記通常の動作周波数未満の値に切り替え、前記第 1 の制御信号が再度受信されると、前記周波数を、前記通常の動作周波数未満の値から前記通常の動作周波数に切り替える請求項 5 又は 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

回路ブロックの供給電圧を検知する段階と、

前記供給電圧が第 1 の電圧以下である場合、第 1 の制御信号を生成する段階と、

前記供給電圧が第 2 の電圧の所定の範囲以内である場合、第 2 の制御信号を生成する段階と、

(i) 電力投入再設定の後に初めて前記供給電圧が前記回路ブロックに供給された場合、及び、(i i) 前記第 1 の制御信号または前記第 2 の制御信号が受信された場合に、前記回路ブロックに供給されるクロック信号の周波数を、前記回路ブロックの通常の動作周波数未満の値に設定する段階と

を備え、

前記通常の動作周波数は、0 より大きい
方法。

【請求項 9】

(i) 前記第 1 の制御信号または前記第 2 の制御信号が受信された後に所定の時間が経った場合、及び、(i i) 前記第 2 の制御信号が受信された場合に、前記回路ブロックに供給される前記クロック信号の周波数を、前記通常の動作周波数に設定する段階をさらに備える請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 の電圧は前記第 2 の電圧より低い請求項 8 又は 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 1 の制御信号が再度受信されると、前記周波数を、前記通常の動作周波数から前記通常の動作周波数未満の値に切り替える段階と、

前記第 2 の制御信号が再度受信されると、前記周波数を、前記通常の動作周波数未満の値から前記通常の動作周波数に切り替える段階と

をさらに備える請求項 8 から 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

回路ブロックの供給電圧を検知する段階と、

前記供給電圧が前記供給電圧の所定の範囲の定格値以内である場合、第 1 の制御信号を生成する段階と、

(i) 前記供給電圧が所定の電圧以下である場合、かつ (i i) 前記第 1 の制御信号が生成された電圧よりも前記供給電圧が低い場合、第 2 の制御信号を生成する段階と、

前記第 2 の制御信号が受信されると、前記回路ブロックに供給されるクロック信号の周波数を、前記回路ブロックの通常の動作周波数未満の値に設定する段階と、

前記第 1 の制御信号がアサートされると、前記クロック信号の周波数を前記通常の動作

周波数に設定する段階と

を備え、

前記通常の動作周波数は、0より大きい

方法。

【請求項 13】

前記第1の電圧は前記第2の電圧より低い請求項12に記載の方法。

【請求項 14】

前記第2の制御信号が再度受信されると、前記周波数を、前記通常の動作周波数から前記通常の動作周波数未満の値に切り替える段階と、

前記第1の制御信号が再度受信されると、前記周波数を、前記通常の動作周波数未満の値から前記通常の動作周波数に切り替える段階と

をさらに備える請求項12又は13に記載の方法。

【請求項 15】

コンピュータに、請求項8から14のいずれか一項に記載の方法を実行させるためのプログラム。